

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 薬事衛生課長 柳 俊徳 電話番号 0852-22-5257

| | | |
|---------|---|---------------------|
| 事務事業の名称 | 水道施設・水道水質の維持管理事業 | |
| 目的 | (1) 対象 | 既に水道事業等から給水を受けている県民 |
| | (2) 意図 | 適正に管理された水道水を供給する |
| 事業概要 | 1.水道法に基づく許可、監視指導事務 水質基準を満たした水を供給するため、水道事業者に対して、法に基づき、許可・監視・指導を行う 2.水道施設更新に伴う交付金交付事務 水道施設の更新や機能向上を図るため、水道事業者に対して、簡易水道等施設整備推進交付金を交付 3.水道広域化の推進事務 水道水の安定給水のため、水道事業者に対し、水道事業の統廃合、広域化に向けた事業が円滑に行われるよう支援 | |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 | | 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 |
|----------|----------------------------------|-------|------|------|------|------|------|----|
| 1 | 指標名 水道の給水停止及び断水日数（年間日数。自然災害を除く） | 目標値 | | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 日 |
| | | 取組目標値 | | | | | | |
| | 式・定義 水道の給水停止及び断水日数（年間日数。自然災害を除く） | 実績値 | 0.0 | | | | | % |
| | | 達成率 | - | - | - | - | - | |
| 2 | 指標名 | 目標値 | | | | | | |
| | | 取組目標値 | | | | | | |
| | 式・定義 | 実績値 | | | | | | % |
| | | 達成率 | - | - | - | - | - | |

3. 事業費

| | 前年度実績 | 今年度計画 |
|--------------|-------|-----------|
| 事業費 (b) (千円) | 7,603 | 1,501,690 |
| うち一般財源 (千円) | 6,148 | 1,885 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

施設の老朽化等に起因する年間の給水停止・断水日数はなかった

6. 成果があったこと（改善されたこと）

適正に管理された水を安定的に供給するためには、水道施設の更新・改良が必要であり、国庫補助事業の有効活用や事業採択について助言した。
 また、保健所による水道施設への立ち入り検査を実施し、浄水施設等の適正管理や水質状況の把握を行った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 昭和40年代に集中的に整備された水道施設が多数あり、老朽化や耐震化による更新需要が急増することが見込まれ、老朽化・耐震化対策事業を推進する必要がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 更新にあたっては、多大な事業費を要するため、更新に必要な費用と財源を算定し総合的な施設更新計画や耐震化計画の策定が必要であり、計画の前提となる水道施設の資産台帳の整備等、適正な資産管理が必須である。しかし、特に簡易水道においては、資産台帳が整備されていないケースも多い。
- ③原因を解消するための「課題」
 水道事業者においては、水道施設の資産台帳等を整備し、今後必要な施設更新費用や、そのための財源の把握など適切な資産管理（アセットマネジメント）が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

水道事業者に対して、資産台帳の整備やアセットマネジメントへの取り組みを推進し、簡易水道事業の統合に向け、水道施設の老朽化対策を計画的に進めるよう指導する。
 また、水道施設の改良・更新の実施にあたって必要となる財源について、国庫補助事業の拡充など国に要望していく。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。